

放課後等デイサービス

事業所における自己評価結果

事業所名	I Le 宇栄原 さつき		公表日		令和 8 年 3 月 23 日		
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		・個室にて落ち着いて支援が出来るスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			・現場経験が長い職員が多く配置されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・ほぼ段差のない設計。	・玄関周りの手すりなどを設置したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			・毎日、掃除、洗濯を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			・活動や学習、情緒の安定や体調不良の時など個室ですごせる環境です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			・支援内容の振り返りを職員全員で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・定期的にアンケートなど行い改善に取り組める機心がけています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・定期的に話し合いも設け意見交換をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	3		・現在、保護者以外での外部評価を行っていない為、検討し実行していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・定期的に研修や勉強会を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				・ホームページに掲載しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・保護者からの聞き取りや児童の様子を見て計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			・計画書を作成する為の話し合いを行い共通理解の下で作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・職員と共有し支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・利用者全員にアセスメントを作成し使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・相談支援事業所やご家族と相談し統一された支援を行えるように設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・その日のリーダーがメインになりプログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・リーダー業務を職員で回し多様な支援になるよう心がけています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2		・個別と集団でのバランスを考え支援しています。	・個別での支援の幅を広くしていきたい。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・朝にミーティングを行い職員全員で確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				・支援終了時には業務時間が終わってしまう為、申し送りノートに記載し翌日の朝のミーティング時に共有できるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・個人記録を利用時には必ず記入を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			・モニタリングを行い必要に応じて計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			・固定の無い様々な活動を組み合わせ支援しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	5			・活動や自由時間などに様々な選択肢をもたせ自発的に行動できるよう支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・会議前に職員間で話し合い会議に参加しています。	・必要に応じて児童発達支援責任者以外の職員も参加できていけるようにしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			・会議などを通して連携を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・学校への送迎時や会議などを通して情報の共有を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			・新1年生の場合など利用前に会議を行い注意点や気を付ける事など会議を開き聞き取りしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			・会議などを通して連携を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		・会議などやセンターでの研修会などの参加をしています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		・ハロウィンイベントなどで地域の方もおまねきして実施しました。	・外出時に交流などはありますが、ちゃんと機会を設け合同活動などが出来ればと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			・定期的に会議を行い自立に向けた話し合いをしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・申し送りやモニタリングなど行い共通理解できるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・相談事など必要に応じて面談を行っています。	・職員全体で出来ていけるように研修など行っていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		・契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・モニタリング時や相談があった際などに聞き取りし支援に反映できるようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			・計画書を作成し、保護者と一緒に確認し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・必要に応じて面談を行い対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	1		・大々的に出来ていない為、設定し開催できるようにしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・必要に応じて面談を行い対応しています。	

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・毎月お知らせを発行し発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・施錠し外部に出ないようにしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・支援を工夫し行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1			・イベント時などに地域の子供達をお招きしました。交流の機会が増えるよう試案していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		・勉強会や研修を行っています。	・保護者向けには実施出来ていない為、今後は出来るよう検討していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・年に2回以上の避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			・アセスメントやモニタリング時に状況の確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5			・アセスメントやモニタリング時に確認していますが、現在医師の指示書などが必要な児童は居ません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			・避難経路や訓練、物の配置など検討しながら実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		・避難経路や訓練、物の配置など検討しながら実施しています。	・実施の報告などはしていますが、細かい内容の周知ができていけるよう共有を図ります。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・作成し、職員で振り返り共有しています。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・勉強会や研修を行っています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		5			・現在、拘束が必要な児童は居ませんが、その際は必要なステップを踏み行っています。	